



夏季一時金をはじめ組織の拡大強化など 2018 年の夏季闘争を全分会一丸で推進を！

建交労の夏季一時金闘争は、5 月 9 日の全国いっせい回答日を契機に本格的な闘争に入っています。県南支部の各分会は闘争状況の報告を迅速に支部執行委員に行って統一闘争への結集を強めてください。また、一時金などの要求を前進させるための確かな保障として組織の拡大と強化は不可欠な課題であり、全分会が意識的に具体的に追求することが求められています。とりわけ県南支部のすべての分会の重点課題である職場組織の多数派形成を具体的な対象者を上げて徹底して追求しましょう。

さらに、分会の自律機能を高めるための学習活動では、全ての分会が勤労者通信大学（入門コース）の受講者を送り出す具体的な手立てを早急に行ってください。

全日本トラック協会創立 70 周年記念式典 建交労からは角田委員長はじめ 4 人が出席

公益社団法人全日本トラック協会は 5 月 14 日に東京都内のホテルで創立 70 周年の記念式典を盛大に開催。主催者挨拶を行なった坂本克己会長は「1948 年 2 月に全ト協の前進である日本トラック協会が設立されて以降、戦後日本の経済復興と国民生活を支え、阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震をはじめ大規模災害時にはトラック輸送の特性を生かした救援活動で重要な役割をはたしてきた。その役割を担っ



70 周年を祝って壇上で祝杯を挙げる正副会長



角田委員長（中央）、足立副委員長（右）

いた趣旨の挨拶を行ないました。

この全ト協の歴史と課題は、1946 年に結成した全貨労連にはじまり 1960 年の全自運、1977 年の運輸一般、そして 1999 年 9 月 7 日に結成した建交労の歴史と課題と重なります。

記念式典には建交労から角田季代子委員長、足立浩副委員長（トラック部会部会長）、鈴木正明書記次長（トラック部会事務局長）、赤羽数幸顧問の 4 人が出席しました。